

〔大鏡序〕さいつころ。雲林院のぼだいかうにまうで、侍りしかば略下

〔倭訓栞〕中編十四。ちかごろ。近をよめり、或は近者とみゆ、又屬をよむは師古近なりと注せり、

〔類聚名義抄〕日者コノヒ。〔同三〕頃丘。頃來コノ。頃者同。〔同九〕今屬コノ。今來同

〔伊呂波字類抄〕天象。近日コノ。近來。頃。迺者已上。同。

〔日本靈異記〕中。憶持心經女現至閻羅王闕。示奇表縁第十九

比頃コノ

〔和爾雅〕二。近頃。頃者。屬者シヨク。迺者シヨク。近者シヨク。邇者シヨク。比者ヒ。茲者チ。比比。近近。屬シヨク。迺間シヨク。古昔コノ

在昔ザイセキ。遂古ズイコ。猶後漢書注。往古コノ。往昔コノ。上世コノ。上古コノ

〔倭訓栞〕古編九。このごろ。比乃頃。屬間字。或は間者頃者などをよめり、靈異記に此頃ともみゆ、

〔萬葉集〕相四。聞。大伴坂上郎女歌

比者コノ。千歳チサヒ。八往裳ヤチモ。過與スギルト。吾哉ウヤ。然念シカモフ。欲見イクホレカモ。鴨。

〔伊呂波字類抄〕見字。未來。〔同〕志字。將來

〔書言字考〕節用集二。時候。自今コノ以後ノチ。向後コノ。白文。以後ゴ。又作後。餘年ユクニ。萬葉。將來コノ。向後コノ。未コノ。然サキ。日本紀紀

已後コノ。同。向前コノ。同。粹文。未來コノ。並同。自今コノ以後ノチ。今コノ。以後ノチ。漢王莽傳。又自

〔倭訓栞〕前編三十五。ゆくする。行末の義也、萬葉集に餘年をよみ、續日本後紀の長歌に、將來をよ

めり、前程をも譯すべし、

〔日本書紀〕七。行。二十七年十二月、川梟帥略。即啓曰、自今以後、號皇子應稱、日本武皇子、

〔續日本後紀〕十九。嘉祥二年三月庚辰、興福寺大法師等、爲奉賀天皇寶算滿于四十略。中。長歌詞曰、中

略。今我帝イマノミカド。波ハ。往古コノ。爾ニ。不御坐オホシマサジ。志シ。將來コノ。毛モ。何申ナニウケル。下略。

〔源氏物語〕桐一。壺。あるかなきかに、きえいりつ、ものし給を、御らんするに、きしかた、行末おぼしめ